

いま、 「死刑」を 考える

参加
無料
[定員400名]

～裁判員裁判を経験して～

日時・場所

平成
23年
5.28(土)

午後1時30分～午後4時30分
(開場午後1時)

**岡山大学
創立50周年記念会館**

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

Program

■第1部 **基調報告** 岡山弁護士会弁護士

■第2部
パネルディスカッション

パネリスト ■ 田中 史生(読売新聞東京本社社会部 記者)
藤井 誠二(ノンフィクションライター)
森 達也(映画監督/作家)

コーディネーター ■ 中村 有作(岡山弁護士会弁護士)

パネリスト紹介

たなか ふみお
田中 史生

読売新聞東京本社社会部 記者

1973年、横浜市生まれ。早稲田大政治経済学部卒。95年、読売新聞に入社し、北海道支社を経て社会部。2003年から司法担当となり、裁判員制度を制度設計の段階から取材。08年以降は死刑や刑務所、更生保護をテーマにした長期連載を手がけている。共著に『死刑』『これ一冊で裁判員制度がわかる』『教育再生』(いずれも中央公論新社)など。



ふじい せいじ
藤井 誠二

ノンフィクションライター

1965年、愛知県生まれ。高校時代から教育問題などに関心を持ち、さまざまな社会運動にかかわる。テレビやラジオなどのコメンテーターとしても活躍。愛知淑徳大学非常勤講師も務め、『ノンフィクション論』や『取材学』といった講座を受け持っている。著作に『殺された側の論理』(講談社)、『少年に奪われた人生』(朝日新聞出版)、『17歳の殺人者』(朝日文庫)、『少年犯罪被害者遺族』(中公新書ラクレ)、森達也氏との対話『死刑のある国ニッポン』(週刊金曜日)、アフター・ザ・クライム(講談社)など多数。



もり たつや
森 達也

映画監督/作家

1998年オウム真理教の荒木浩を主人公とするドキュメンタリー映画「A」を公開、各国映画祭に招待され高い評価を受ける。2001年、続編「A2」が、山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞・市民賞を受賞。著書に『「A」マスコミが報道しなかったオウムの素顔』(角川文庫)、『きみが選んだ死刑のスイッチ』(理論社)、『死刑』(朝日出版社)、『神さまってなに?』(河出書房)、『死刑のある国ニッポン』(週刊金曜日)、『A3』(集英社インターナショナル)など多数。



主催 岡山弁護士会 〒700-0807 岡山市北区南方1-8-29
TEL(086)223-4401(代)

共催 中国地方弁護士会連合会

岡山弁護士会

検索